

令和3年9月8日

只見町議会議長 大塚 純一郎様

総務厚生常任委員会

委員長 山岸 国夫

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1、 所管事務調査項目

- (1) 朝日診療所の運営に関する調査
- (2) 人口減少対策に関する調査
- (3) 事務の適正管理と職員の健康管理に関する調査
- (4) 新たな自主財源確保に関する調査

2、 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 7月16日、8月30日
- (4) 出席委員 山岸国夫委員長、酒井右一副委員長、三瓶良一委員、齋藤邦夫委員、中野大徳委員、大塚純一郎委員

3、 調査結果及び意見

新型コロナウイルス感染症対策について、発生以来、予断を許さない緊張状態が続いた。

そうした中、感染拡大を抑えるために予防策の徹底とワクチン接種の促進に向けて調査してきた。その結果、町内においては感染者累計9人に抑え込み、対策は成功したと言える。しかし、変異したデルタ株の全国的な感染爆発を見据えた時、これまでの感染予防策を抜本的に見直さなければならない可能性もある。更なる注意を喚起し、医療環境の脆弱な本町として何ができるか調査していく。関係者の努力について感謝申し上げたい。

また、職員定数の適正な管理と職員研修、朝日診療所の安定した診療体制確立の要である医師及び看護師体制について調査した。

なお、委員会調査として新たな自主財源確保に関する調査の内、河川法に定める発電流水占用料について今後調査する。

以上